

関連項目：教育活動プラン⑤

「心磨きの活動をつくる」取組で、自尊感情を高める

目的

本校の児童は、決まった時間や場所で活動することは習慣となり定期的に行動することができるので、場所や相手が変わっても行動できるようにも習慣づけたいと考えました。そこで、いつでもどこでも、誰にでも役立つ行為や言葉かけ、心を磨こうとする態度を育てるために、黙目(無言)清掃・花咲山活動を設定することにしました。

内容

● 黙目(無言)清掃の実施

全校生が黙って一生懸命清掃する「黙目(無言)清掃」に取り組んでいます。場に応じた清掃方法を理解し活動するとともに、無言清掃をやり遂げたことや各清掃場所でのよい取組を賞賛することで、児童の責任感を高めながら、よりよい明日の活動へつなげるように心を磨こうとする態度を大切にしています。

○清掃集会・清掃強調週間の設定

年度始め、学期始めに清掃集会を行い、清掃の意義や清掃の仕方について教師や美化委員会からの話を行っています。

その際、下記の段階を踏まえて、班長を中心に取り組みました。

- ① 清掃の手順を覚える→清掃班集会・清掃の手順カードの作成。
- ② 無言で清掃する→教師も無言で、その場の注意は手振り身振りを基本に。
- ③ 時間いっぱい清掃する→清掃時間の確認。
- ④ 清掃の必要な箇所を見つけ清掃する→清掃ふり返りカード。

※ 清掃強調週間には、おそうじ日記(ふり返りカード)をつけるようにしました。



○学級清掃から、全校縦割り班での清掃の取組へ

学級単位の清掃区割り(1学期)を経て、1年生が学校生活に慣れた2学期からは全校縦割り班(異学年交流)での清掃活動に切り替えて取り組んでいます。上級生としての意識を高め、協力して取り組んでいます。

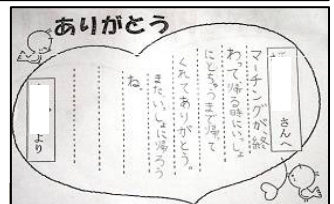
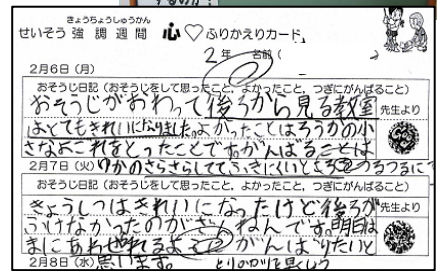
● 花咲山活動(喜ばれる活動)の充実をめざす取組

友達への感謝の言葉を、各学級で「秘密の友達」形式で月1回以上自分以外の友達のいいところをカードに書いて紹介する活動を継続しています。友達のことをしっかりと見つめながら、友達のよさを探し「カード」に書き、みんなで紹介し合います。自分の知らないよさを友達から実感させてもらい、自尊感情を高める場ともなっています。

○「きらりコーナー」の設置と全校への紹介

各学級に「きらりコーナー」を設け、各児童の書いた「見つけたよカード」「ありがとうカード」を掲示するとともに、給食時の放送で「ありがとう放送」として放送している。紹介された子どものよさだけでなく、発見した子どものよさも賞賛する場となっている。

○あいさつ広め隊(児童会役員や各学年ごとに当番となり実施)



成果

こうした取組をすることで、無言清掃が当たり前のできる児童が増え、自己評価でも「黙って自分の仕事ができる」児童が増えました。「おそうじ日記」を書くことで、さらに清掃箇所がきれいになった満足感や自己のふり返り、また周囲の人への感謝を記述する子どもも増えてきました。自分が認められることでさらにかかわろうとする関係が見られます。さらにより役立つ行為ができる主体性・気づきを育てていきたいと考えています。

